

ロシア語

タイ語

ヒンディー語

アラビア語

失敗しない!

ドキュメント 多言語展開 のポイント

ALASA

ドキュメントやマニュアルなどを多言語展開する場合、翻訳だけを翻訳会社に任せただけ、ご自身でレイアウト調整や印刷を行うお客様も多いと思います。

「展開する言語の数や頁数が多いので少しでも費用を抑えたい」、「デザインソフトは社内にもあるので、小修正であれば社内で対応してしまいたい」というご事情があれば、社内処理で済ませることに越したことはありません。

しかし、実際にご自身で多言語展開のDTPを行ったためにトラブルが起こり、解決してほしい、というご相談をいただくことが頻繁にあります。

この資料では、ドキュメント多言語展開時のトラブルと共に、事前に抑えるべき5つの重要ポイントをご紹介します。

トラブル例 1 文字分量の増加

ロシア語に翻訳したテキストをデザインソフトに貼り付けようとしたら、原文より文字幅が長すぎて、レイアウト調整に思ったより時間がかかってしまった。

...

多言語翻訳時には、概して中国語以外は原文と比較して大幅に文字量が増えます。日本語から欧州言語に展開する場合、文字量は約2倍になることもあります。

また、テキストと画像が別々の階層（レイヤー）に保存されている場合があり、それがトラブルの原因になることがあります。

原文では正しい位置にあった文中のアイコン画像が、多言語翻訳により文字量が増え、位置が大幅にずれてしまい挿入位置が分からなくなってしまった、などのお問い合わせを頂くことがありました。

元データの作り方次第では、「余白が少なくあふれ出した文字を調整するスペースがない」、「手動で調整が必要になるテキストボックスを多用している」、「画像周りのテキストが多く微調整に時間がかかる」、「レイヤー階層での調整直し」など、無駄な作業工数が増えてしまい、大幅に想定した時間を越えてしまったというトラブルがよくあります。

トラブル例 2 文字切れ

貼り付けた翻訳テキストが、一部文字切れを起こしていたが、気が付かないまま印刷してしまった。

...

トラブル例1と同様に、元データ上で手動調整が必要なテキストボックスの調整に失敗した例です。テキストボックスのサイズが十分でないために、翻訳テキストが隠れてしまう事がよくあります。

日本語や英語であればすぐに気がつくような失敗でも、馴染みのない言語で気をつける事は至難の業です。レイアウト調整後に展開言語のネイティブに見てもらう事でトラブルを回避できます。

トラブル例 3 改行位置

タイ語のパンフレットを作成したが、後日、現地よりおかしい翻訳になっていると指摘が入った。確認したところ、改行位置が適切ではなかったため、全てやり直しとなってしまった。

...

タイ語やクメール（カンボジア）語などスペース区切りのほとんどない言語では、改行位置により意味が変わってしまいます。

この場合、正しい文字列が入っているだけではなく、正しい位置で改行する必要があるのです。タイ語やクメール語など特殊言語でのDTP時には、レイアウト調整後にネイティブチェックの確認工程が必須です。

トラブル例 4 文字化け

ミャンマー語データを編集しようとしたが、文字化けしてしまい、編集作業が出来なかった。

...

特殊言語では、使用するフォントについても事前に確認や準備が必要です。その言語のサポートがないフォントなどを使用すると文字化けが起きます。

また、明らかに文字化けと気づく場合だけではなく、馴染みのない言語では、「文字化けや書体崩れなのか、元々の文字なのかの判断もつかない」、「声調記号*のみがずれていて、ノンネイティブでは問題に気がつかない」などのケースも。

※ 声調記号：音の高低を表現する記号

トラブル例 5 作業環境

アラビア語の既存マニュアルで図の差し替えのみ対応だったので、自社で対応をしようとしたところ、データの保存時に、修正していない部分の一部の文字列が逆転するなど、データがおかしくなっていました。

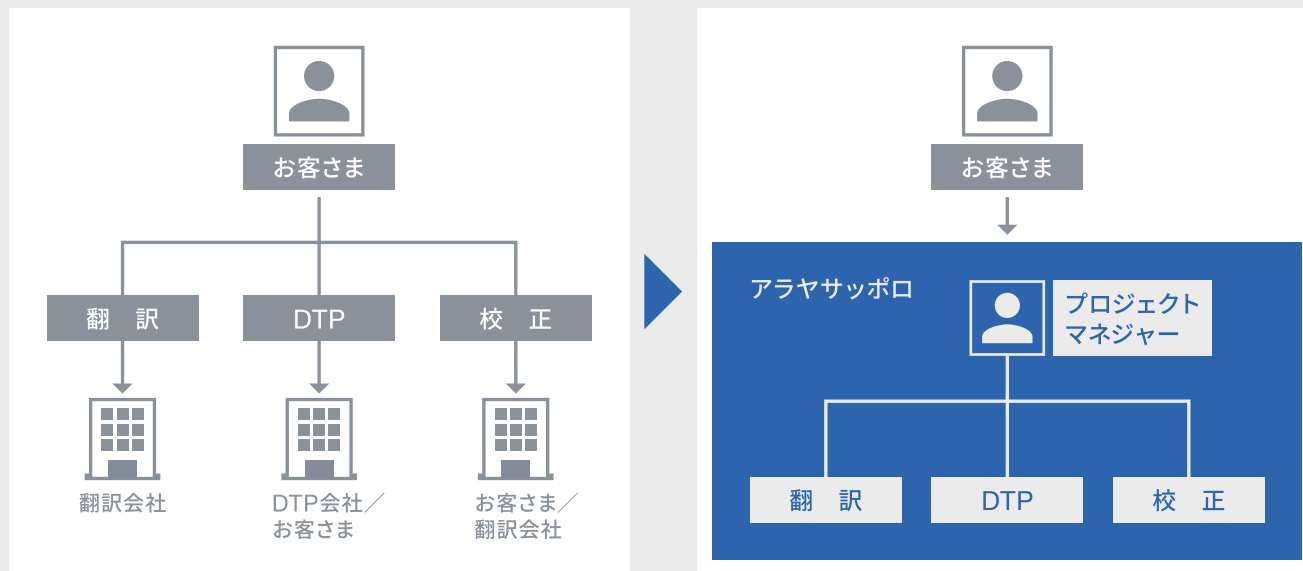
...

アジア言語や中東言語などの多言語編集を行う際に、使用するデザインソフトの言語やバージョンによっては、サポートそのものがされていない場合があります。そのため、図の差し替えなど、修正そのものは単純な編集作業であっても、その際に修正箇所以外のテキストが崩れてしまったり、勝手に置き換わったりする可能性があります。

そのような特殊言語のDTPに関するトラブルについては、お客様より「レイアウト崩れだけではなく、そもそも崩れたかどうかの判断がつかないので、すべてを見直したい」というご要望をいただく場合もございます。

特殊言語のDTPにおいては、展開言語に適用したソフトを使用すること、適切なPC環境を整えることが、編集作業に必須となります。

アラヤサポートでは、多言語展開経験豊富なDTPオペレーターと校正者の連携、さらにネイティブチェックによる確認までを、プロジェクトマネージャーが取りまとめます。お客様のお困り事をしっかりサポートして、ワンストップでの多言語展開を行っています！



ここがポイント！

- 多言語展開経験豊富なDTPオペレーターが編集を担当することで、展開時に起こりがちなトラブル発生を防ぎます。
- 元データに気になる部分がある場合、見積もり段階で、事前の問題回避のための確認や提案サポートをいたします。
- 特殊言語では、DTP工程完了後にもネイティブのチェックをかけるなど、レイアウト調整のプロ+言語のプロがしっかり工程を管理します。文字化け、文字切れ、改行位置の心配がなくなります。
- 翻訳▶制作▶レイアウト後のネイティブチェックまでがワンストップで可能なため、納期短縮に貢献します。

翻訳・多言語ドキュメント・Web制作等のサービスも提供しています。弊社Webサイトをご訪問ください。

御見積ご依頼・お問い合わせ ▶ <https://www.alasa.co.jp>

アラヤサポート 🔍



アラヤサポート株式会社

北海道札幌市中央区北1条西4丁目2-2 札幌ノースプラザビル9F

TEL: 011-210-7335 E-Mail: info@alasa.co.jp

ALASA